



谷川岳から万太郎山の稜線

1.概要

谷川連峰は2000m前後ではあるが、峻険な岩場を有する部分と、熊笹のなだらかな稜線部分を併せ持つ。そのため、ハイキングから岩登りまであらゆるジャンルの登山が楽しめる。首都圏からも近く、登山者は多い。しかし、この地域は日本列島の脊梁の一部をなし局地気象の複雑さは特異とも言え、十分な注意が必要である。山形は谷川岳を中心に、北へは一ノ倉岳~武能岳~セツ小屋山、西へは万太郎山~仙ノ倉山~平標山へと長大な尾根が延びる。主要ピークからも登山道は付けられている。谷川岳周辺では急峻な岩場を構成する山容も離れるにつれ熊笹の尾根に変わる。平標山までの縦走は多くのアップダウンが有り、長時間の歩行が強いられる。随所に小さな避難小屋はあるがゆとりある動が必要である。肩の小屋の営業開始で、主稜線縦走の選択肢が多くなった。

2.登山ルート

本登山ルートは谷川岳を基点に西方に走る谷川連峰の主稜線を踏破する長大なルートである。谷川岳~万太郎山~谷川連峰の最高峰である仙ノ倉山間はキツイ登下降の連続であるが、大きな難路はないため変化に富んだ縦走が楽しめる。しかし、平標近辺の階段状のアップダウンは歩きづらい。又熊笹が登山道を覆っている場合も有り、歩行には注意が必要。

3.本ツアーのコースと所要時間

- ・1日目 = 天神平(1315m) <トラバース道=50分> 熊穴沢ノ頭 <稜線の登り=100分> 谷川岳(1963m)~肩ノ小屋
- ・2日目 = 肩ノ小屋(1950m) <稜線のアップダウン=70分> オジカ沢の頭山 <熊笹尾根のアップダウン=40分> 小障子ノ頭 <熊笹尾根と急な登り=100分> 万太郎山(1954m) <稜線の下り=50分> 越路乗越 <急な登り返し=170分> 仙ノ倉山(2026m) <稜線のアップダウン=50分> 平標山(1984m) <階段状の下りと林道歩き=140分> 登山口

◎所要時間 1日目=約3時間 2日目=約10時間半 但し、天候条件により変わります。

4.周辺地図(出展:昭文社、「山と高原地図16」、谷川岳)

